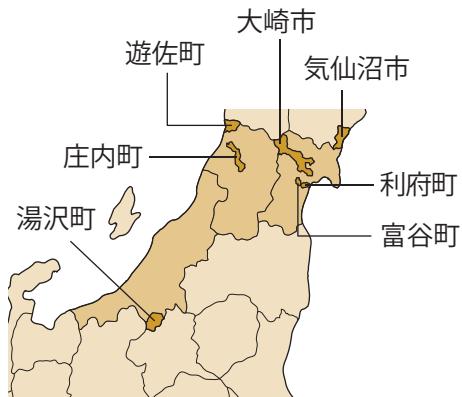


委員会視察リポート



議論の中で、どこの自治体でも議会の活動や姿が見えないとの声もありますが、いかに町民の声を集約し、まちと議会につなげて反映させていくのかが重要なことであると思いました。

した。

運営、町民の情報提供、災害時の行動マニュアルまで明文化されていました。

認議会や委員会

員のあり方、執行部との取り決

め、順守事項の確

立を実現するための取り組みが見えていました。

11月8日、「議会の申し合せ事項」が施行されている新潟県湯沢町を視察しました。

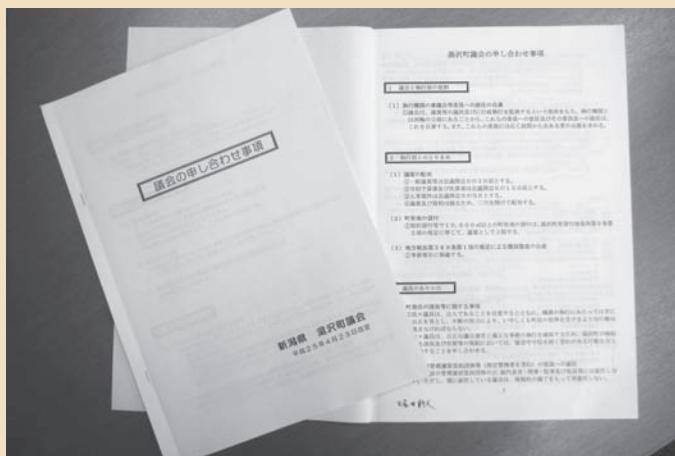
議会と執行部との役割、議

立を実現するための取り組みが見えていました。

議会を日指して 町民に理解される

議会活性化特別委員会

新潟県



これからは、町議会もより一層町民に理解されることを目指したいと思います。

(委員長 齋木輝彦)

駒寄スマートICの 大型化をめざして

駒寄IC周辺整備及びJR新駅設置促進対策特別委員会

宮城県

11月14日、15日、宮城県大崎市三本木スマートICと気仙沼市を視察しました。

三本木スマートICは、建設費6億3千万円で、地元負担は1億9千万円をかけ、平成21年9月18日に開通し、2年後に大型車12台までの車両が利用されるまでになりました。

(委員長 南雲吉雄)

ました。死者は1041人、行方不明者は237人とのことです。早期の復興を望むものです。この研修を生かして、駒寄スマートICも早く工事申請をしたいものです。

この研修を生かして、駒寄スマートICも早く工事申請をしたいものです。

すでに、国道4号線沿いに大手企業が進出しており、さらに規模の拡張を図っているとのことです。また、国道4号線の、渋滞の緩和にも寄与しています。

気仙沼市では、東日本大震災での災害状況とその後の対策について説明を受け



再生可能エネルギー策定に向けて 健全な財政運営の取り組みを目指して

11月25日、26日の2日間、山形県遊佐町と宮城県富谷町にて視察研修を行いました。

遊佐町では平成12年より「遊佐町地域新エネルギー・ビジョン」を策定し太陽光発電設置を皮切りに多種多様な再生可能エネルギーを導入してきました。

遊佐町視察研修資料より

でした。借り入れは極力避け、歳入確保に職員の努力がうかがわれました。

(委員長 山畠祐男)



編集技術の向上を目指して

11月19日、20日の2日間にわたり、議会広報紙編集技術向上のための視察研修を実施しました。

庄内町の議会だより

は、平成24年度町村議会

広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した高い編集水準です。編集方針は、井上ひさしさんの言葉を引用し、「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを愉快に、愉快なことを真面目に書く」を信条としていました。

利府町の議会だよりは、同じく平成24年度町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞した広報紙です。

編集方針は、審議の結果だけでなく、審議経過と内容をわかりやすく、正確に住民に伝えるということでした。

に親しまれる議会だよりをを目指していることを感じました。

(委員長 石倉 實)

富谷町では「開発指導要綱」により町づくりを推進してきました。新庁舎建設でも建設予定費30億円を積み立て目標額達成後に建設したとの説明



群馬県町村議会広報

研修会に参加して



11月27日に県市町村会館において開催された県広報研修会に参加しました。吉野 政明氏（社）

埼玉県コミュニケーションセンター理事長）が

講師として招かれ研修会は進められました。

午前中は議会広報の編集の目安について学びました。

要点としては、審議や

議会活動が適切に企画され、透明度の高い記事で

あるか。ページ・ネーションが読者に読みやすく

なっているか。議会の焦点なり、地域政策の課題

が住民の立場から伝えられているか。政策の監視や政策提言機能を果たしているか。の4項目が特に参考になりました。

午後の「広報クリニック」

は、吉岡町を含め3町村の広報紙を講評していました

だきました。

わがまちは、議会広報

の常任委員会の設置や議

会広報モニター制度、住民に読みやすい広報紙づくりを目指します。

（委員長 石倉 實）

民参加型のコーナーの充実などについても高く評価されました。今後も町議会研修会および群馬県町村議会議長会主催の研修会が開催されました。

北群馬郡研修会では、

議会基本条例や道州制について、2人の講師から、

わかりやすくかつ

熱心な講義を受け

ました。

また、県議長会

研修会では、東日本大震災の被災地

である岩手県大槌町の平野総務部長

の講演を聞きまし

た。被災自治

体の職員としての

声、さまざまな葛藤、大きなスクリーンに映し出され

た生々しい映像の数々に、改めて災害の悲惨さと恐怖

10月23日、24日の2日間、渋川市伊香保町および吉岡町文化センターに

を感じました。

異なる分野の研修内

容であります。が、大

変有意義な2日間とな

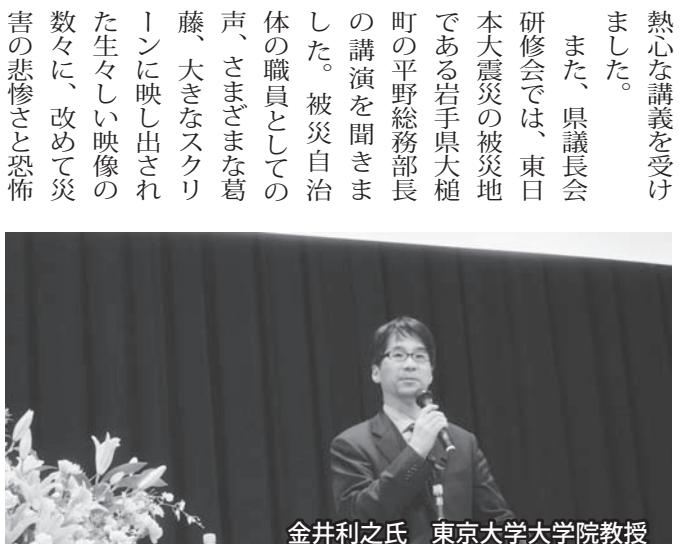
りました。

今後の議会活動に生

かしていきたいと思いま

す。

（議長 近藤 保）



金井利之氏 東京大学大学院教授

議員研修報告

演題	講師
『議会基本条例について』	群馬県町村議会議長会業務課長 伊藤良和 氏
	全国町村議会議長会企画調整部長 櫻田潤一郎 氏
『町村議会に期待する』	東京大学大学院 法学政治学研究科教授 金井利之 氏
	岩手県大槌町総務部長 平野公三 氏